

The 24th Annual Meeting of the
Japanese Cognitive Science Society

日本認知科学会 第24回大会発表論文集

The 24th Annual Meeting of the
Japanese Cognitive Science Society

<http://jcss.gr.jp/meetings/JCSS2007/>

日本認知科学会
第24回大会発表論文集

JCS 2007

JCS 2007

日本認知科学会第24回大会

日本認知科学会
第24回大会委員

主催： 日本認知科学会

共催： 成城大学

大会実行委員会

大会委員長

村本 孜

大会副委員長

野島 久雄

プログラム委員長

小橋 康章

実行委員長

新垣 紀子

プログラム委員会

青山 征彦

大森 隆司

近藤 公久

新垣 紀子

鈴木 宏昭

野島 久雄

平石 界

平賀 譲

南 保輔

実行委員会

青山 征彦

中村 真理子

都築 幸恵

野島 久雄

古川 良治

南 保輔

共催

成城学園・成城大学

会期：

2007年9月2日(日)

博論コンソーシアム

2007年9月3日(月)～9月5日(水)

会場：

受付 7号館4階

シンポジウム、口頭発表 7号館4階 007 教室

ポスター発表 7号館地下1階ラウンジ

懇親会 本部棟3階

ワークショップ 8号館2階

参加費：

	正会員	学生会員	非会員	非会員(学生)
事前登録(6月30日まで)	6000円	3000円	9000円	6000円
当日登録(7月1日以降)	7000円	4000円	10000円	7000円

残部がある場合のみ、大会論文集を販売いたします。(送料込みで5000円)

懇親会：

4日の行事終了後に懇親会をキャンパス内にて行います。

(懇親会費は、5000円です)

大会運営・参加に関する問い合わせ先

〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20

成城大学社会イノベーション学部内

日本認知科学会第24回大会事務局

<http://www.jcss.gr.jp/meetings/JCSS2007/>

jcss2007-org@jcss.gr.jp

telephone & facsimile: 03-3482-9747 (担当:野島)

表紙・ロゴデザイン
徳村 篤志

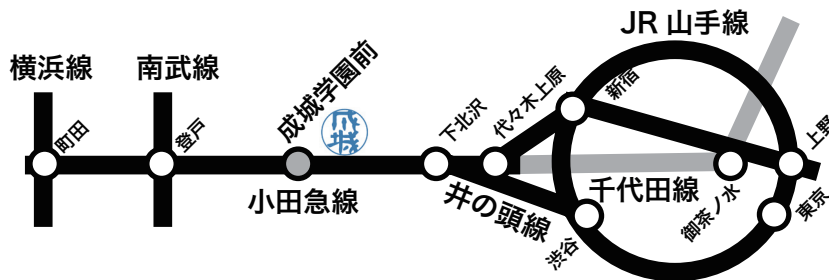


日本認知科学会第 24 回大会のお知らせ

今回の認知科学会大会は、下記の通り、成城大学で開催いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

日程：2007年9月3日(月)～5日(水)

場所：成城大学（東京都世田谷区、小田急線成城学園前駅 徒歩5分）



[新宿から急行で15分、快速急行は停まりません]

大会 Web ページ：<http://jcass.gr.jp/meetings/JCSS2007/>

大会委員長 村本 孜（成城大学・社会イノベーション学部 学部長）

大会副委員長 野島 久雄（成城大学）

プログラム委員長 小橋 康章（株式会社 大化社）

プログラム委員：

青山 征彦（駿河台大学） 大森 隆司（玉川大学） 近藤 公久（NTT）

新垣 紀子（成城大学） 鈴木 宏昭（青山学院大学） 野島 久雄（成城大学）

平石 界（東京大学） 平賀 譲（筑波大学） 南 保輔（成城大学）

実行委員長 新垣 紀子（成城大学）

実行委員：

青山 征彦（駿河台大学） 中村 真理子（NTT）

都築 幸恵・野島 久雄・古川 良治・南 保輔（成城大学）

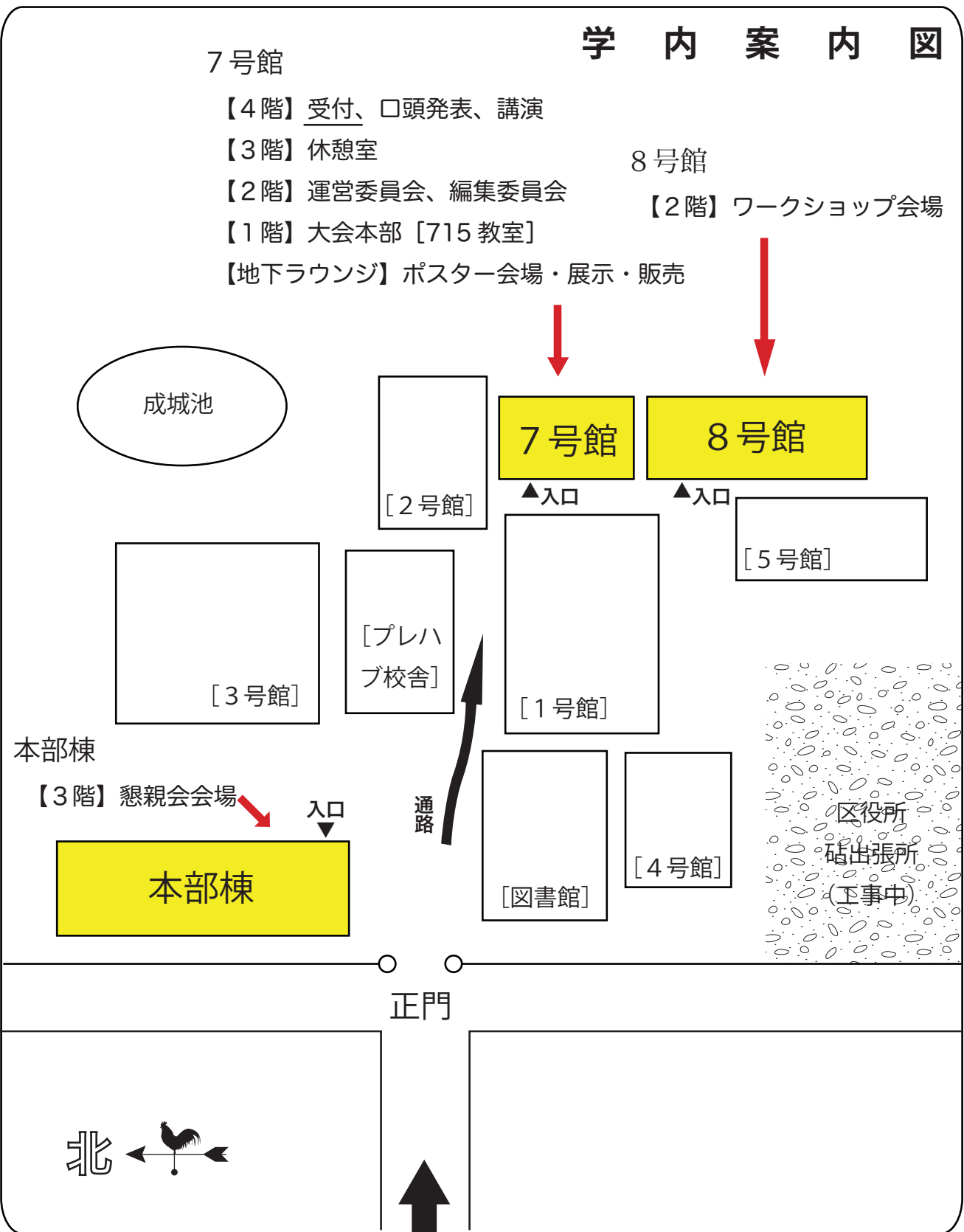
学内案内図

7号館

- 【4階】 受付、口頭発表、講演
- 【3階】 休憩室
- 【2階】 運営委員会、編集委員会
- 【1階】 大会本部 [715 教室]
- 【地下ラウンジ】 ポスター会場・展示・販売

8号館

- 【2階】 ワークショップ会場



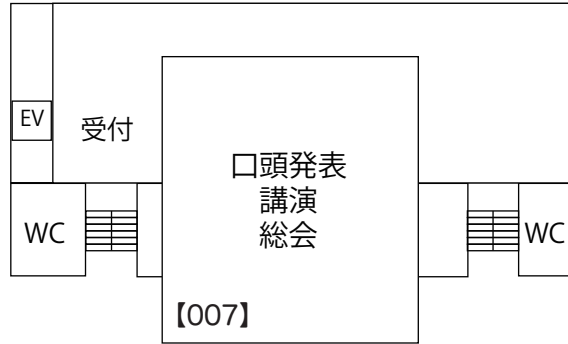
小田急 成城学園前駅

7号館

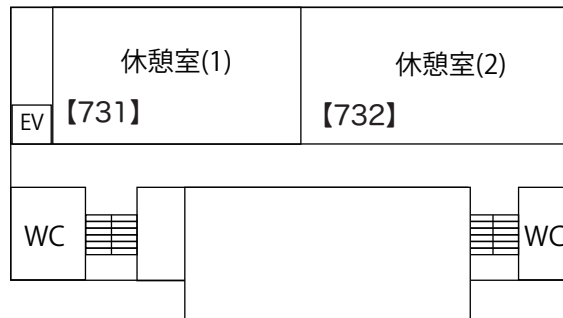
参加受付
講演会場



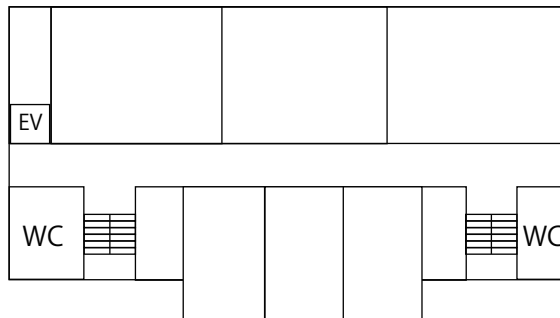
4F



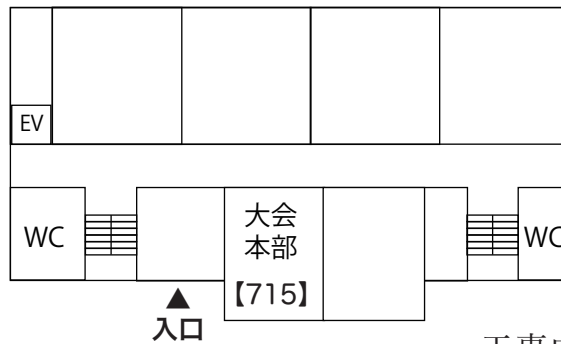
3F



2F

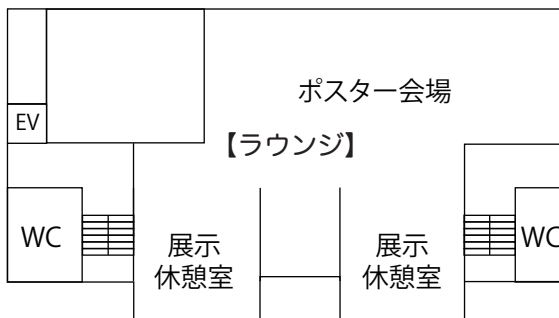


1F



← 大会本部

B1

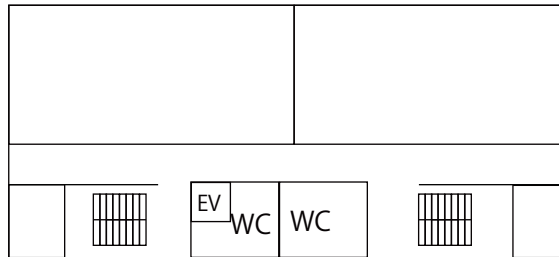


工事中につき、7号館の地下入口
のご利用はお避けください。
1階入口をご利用ください。

← ポスターセッション
展示・休憩室

8号館

3F



2F

ワーク
ショップ

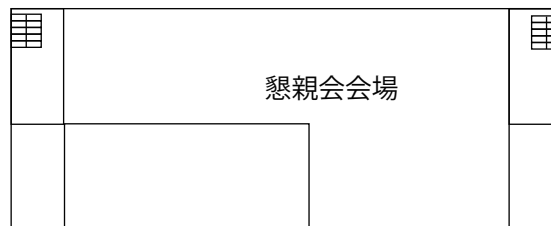


本部棟

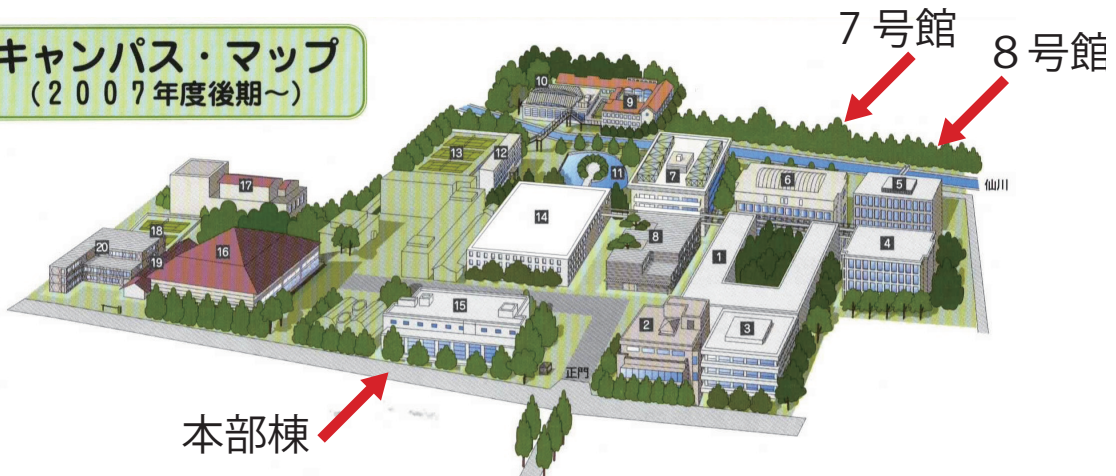
懇親会



3F



キャンパス・マップ
(2007年度後期~)



日本認知科学会

第 24 回大会スケジュール

9:00	9/3 (月)	9/4 (火)	9/5 (水)
:30	8:45 ~ 受付 【7号館 4F】 9:25 開会挨拶	口頭発表 (3)	口頭発表 (4)
10:00	口頭発表 (1) 言語とカテゴリ化	社会的問題解決	相互作用
:30	【7号館 4F】	【7号館 4F】	【7号館 4F】
11:00	ポスターセッション (1)	ポスターセッション (3)	ポスターセッション (4)
:30	【7号館地下】	【7号館地下】	【7号館地下】
12:00	昼休み	昼休み	昼休み
:30		【7号館 4F】 総会	招待講演 (3) 【堀内圭子氏】 ノスタルジア研究の現状と課題
13:00	招待講演 (1) 【暦本純一氏】 インタフェースの発想	大会企画シンポジウム 来るべき認知科学の姿： 戸田正直の夢から	口頭発表 (5)
:30	口頭発表 (2) 発達と学習	【小橋康章氏・山岸俊男氏・ 三宅なほみ氏・他】	思考と行動の支援
14:00	【7号館 4F】	【7号館 4F】	【7号館 4F】
:30	招待講演 (2) 【大平貴之氏】 100万個の星を映す プラネタリウムを作る	招待講演 (2) 【大平貴之氏】 100万個の星を映す プラネタリウムを作る	ポスターセッション (5)
15:00	ポスターセッション (2)	【7号館 4F】	【7号館地下】
:30	【7号館地下】		ワークショップ (4-6)
16:00	ワークショップ (1-3) ・サブカルチャーのデザイン ・「転移」再考 ・科学技術リテラシーの育成	懇親会	・熟達研究における実践知 ・子どもの日常生活 ・思考と言語獲得の対称性
:30	【8号館 2F】	【本部棟 3F】	【8号館 2F】
17:00			
:30			
18:00			
:30			
19:00			
:30			

日本認知科学会 第 24 回大会プログラム

2007 年 9 月 2 日 (日)

■ 9:00-17:00 博論コンソーシアム

(参加者はあらかじめ登録されたメンバーのみです)

2007 年 9 月 3 日 (月)

■ 9:00 - 9:20 受付

[7 号館 4 階 007 教室前室]

■ 9:20 - 9:30 開会挨拶

[7 号館 4 階 007 教室]

■ 9:30 - 10:30 口頭セッション <言語とカテゴリ化>

[7 号館 4 階 007 教室]

司会：近藤 公久 (NTT)

O1-1	“十分にありえる”方が“見込みがない”より意味があるか？：言語確率の情報としての有益さとその情報理論的解釈 中村 國則	20
O1-2	なぜ自然カテゴリは“自然”か：曲面上に詰め込まれたカテゴリ 日高 昇平・Linda Smith	26
O1-3	動作イベントのカテゴリ化における言語構造の違いが及ぼす思考への影響 津田 尚明・今井 むつみ・Henrik Saalbach	32

■ 10:30 - 12:00 ポスターセッション (1)

[7 号館地下ラウンジ]

P1-01	視線計測データに基づく仮定的描画による推論の検証 下嶋 篤	36
P1-02	“I See into Your Mind Too Well!” Adults' Success and Failure in Theory-of-Mind Use. Yukio Maehara, Takae Tanaka, Mao Tanaka,	42
	Machi Miyata, Yoshiko Yano	

P1-03	(発表取り消し)	
P1-04	数独難易度評価のための解答者知識の認知科学的分析	
	伊藤 毅志・橋爪 浩二	46
P1-05	身体化エージェントの身体位置・方向がユーザに与える影響の性差	
	鈴木 聡・森島 泰則・中村 美代子・槻館 尚武	48
P1-06	音声の韻律的特徴の違いが状況判断に及ぼす影響	
	蓮井 直樹・竹内 勇剛	50
P1-07	投影的空間表現語指示領域適合度計算モデル ACAP	
	小島 隆次	52
P1-08	熱力学的エントロピー値とエントロピー概念の言語表現による心理量の順位相関	
	佐藤 智明・永岡 慶三・小口 幸成	54
P1-09	プロップの物語内容論と解体／再構成としての物語生成 - 基礎的考察 -	
	小方 孝	58
P1-10	芸術作品制作活動における表現観の意識化を目的としたリフレクション支援ツールの開発と実践	
	中村 太郎・宮田 義郎	64
P1-11	Ad Hoc Categories and Contextual Reference	
	Kazuya Yasuhara	66
P1-12	対象との関わりがアニメシー知覚に及ぼす影響	
	福田 玄明・植田 一博	72
P1-13	縦格子とドット平面による立体錯視現象におけるドット遮蔽と脳内距離計算に関する基礎研究 — 認知距離とドットの遮蔽状態の関係についての実験と解析 —	
	大概 正伸・掛札 祐司・相樂 基宏・若松 真哉・中野 良樹	74
P1-14	周波数解像度を低下させた音声で合成された単語の同定における反復プライミング効果	
	橋 亮輔・猿田 恵・佐々木 康成・力丸 裕	78
P1-15	社会的参照の獲得における参照視行動の役割 — 構成的アプローチによる検討 —	
	金野 武司・橋本 敬	80
P1-16	フレームは本当に情報を“leak”するのか? — 話者の意図を読み取る過程から見るフレーミング効果 —	
	本田 秀仁・山岸 侯彦	82
P1-17	知覚の言語表現の多義構造にみる感覚モダリティの特徴 — 「見る」と「聞く」に伴う行動の観点から—	
	高嶋 由布子	88
P1-18	動詞文理解過程における空間表象の活性化 — 上下運動の心的シミュレーションとイメージ図式 —	
	平 知宏・中本 敬子・木戸口 英樹・木村 洋太・常深 浩平・ 衣川裕子・楠見孝	90
P1-19	コンピュータが伝える心づかい	
	村山 幹朗・小野 哲雄	96
P1-20	大学生における漢字記憶に関する研究	
	森田 愛子	98

P1-21 原初的行為を通じた相互参照モデルの構築
伊藤 早希・竹内 勇剛100

P1-22 フォントの組み合わせによるプライミング効果への影響
安念 保昌・佐藤 菜甫子.....102

P1-23 発話構造の発達における自発的身振りの役割
関根 和生104

P1-24 (発表取り消し)

P1-25 携帯メールコミュニケーションにおける感情的なすれ違いに関する分析 — 怒りと
罪悪の感情に注目して —
加藤 尚吾・加藤 由樹106

P1-26 状況モデル構築を支援する物語朗読の句点におけるポーズ時間長 — 宇野重吉の語
りきかせにおける朗読音声の解析 —
明石 圭祐・杉本 徹・古宮 誠一・榎津 秀次108

P1-27 習熟者によるデッサンというイベントの非線形ダイナミクス解析
野中 哲士・西崎 実穂・佐々木 正人110

P1-28 音楽物語論と物語音楽論へ
小方 孝・秋元 泰介.....112

P1-29 助数詞の習得における非対称性
李 在鎬・濱野 寛子・黒田 航・井佐原 均.....114

P1-30 地域防災への市民参加を促すための情報提供に関する検討
中村 真理子・伊東 昌子・梶井 浩.....116

P1-31 顔文字を使用した文章によるコミュニケーションでの受け手の解釈の傾向
角野 清久・永井 由佳里.....118

P1-32 物語理解の計算モデル化 — 多層フレーム表現とその自動生成手法の提案 —
三崎 貴裕・杉本 徹・古宮 誠一・榎津 秀次120

P1-33 日本語政治 WWW テキストコーパスの構築 — 政治的感性の解明に向けて —
村井 源・山本 竜太・往住 彰文122

P1-34 知の広域化と高次化を探索する
福永 征夫124

■ 12:00 - 13:30 昼休み  (編集委員会を開催します)

■ 13:30 - 14:30 招待講演 (1) [7号館4階007教室]

司会：新垣 紀子 (成城大学)

LifeTagging: 位置・行動・記憶とインタフェース
暦本 純一 (東京大学大学院情報学環・Sony CSL) 2

■ 14:30 - 16:00 口頭セッション <発達と学習>

[7号館4階007教室]

司会: 大森 隆司 (玉川大学)

O2-1	乳児における行為の目標構造の理解 片山 顕裕・針生 悦子	128
O2-2	統合失調型パーソナリティと視聴覚に同時提示した運動情報統合の関係: 動的な 腹話術効果を用いた検討 浅井 智久・丹野 義彦	134
O2-3	消滅を伴うトラッキング課題における運動制御と学習 小堀 聡・阿部 陽祐	140
O2-4	「発話にともなう手振り」と他者性 — 早期失明者における手振りの考察 — 佐藤 由紀・渋谷 友紀・佐々木 正人	146

■ 16:00 - 17:30 ポスターセッション (2)

[7号館地下ラウンジ]

P2-01	基準率錯誤についての自然頻度假説と等確率性仮説 西田 豊・服部 雅史	152
P2-02	(発表取り消し)	
P2-03	動詞による比喩の理解過程の実験的検討 中村 磨紀登・内海 彰	154
P2-04	文献資料内容の再解釈による知識の精細化 — 教育実習経験を軸にした既習内容の 再吟味活動の効果 — 益川 弘如	156
P2-05	日本語の脳内における統語処理と語彙意味処理の fMRI 研究 神原 利宗・横山 悟・生田 奈穂・鄭 嬌婷・高橋 慶・ 関口 敦・宮本 正夫・高橋 大厚・小泉 政利・吉本 啓・ 堀江 薫・佐藤 滋・川島 隆太	160
P2-06	学習方略としての符号化処理の効果 田中 孝治・加藤 隆	166
P2-07	身体スキル熟達の道: 身体統合モデルの構築と破壊のサイクル 諏訪 正樹	168
P2-08	カテゴリー特異的な意味記憶の障害を階層構造と自己組織化マッピングを用いた モデルで説明する試み 浅川 伸一	170
P2-09	事態性名詞の収集と分析 金丸 敏幸・黒田 航・井佐原 均	172
P2-10	大学授業でのグループ活動における協調的な談話が持つ特徴 — ジグソー活動から 生じたグループ間の差を手がかりとして — 長田 尚子・鈴木 宏昭・三宅 なほみ	174
P2-11	一致箇所検出と項目間競合に基づく単語の分節化と認知のコネクションモデル 牧岡 省吾	176

P2-12	発話に伴って生起するジェスチャーの役割：アニメーション伝達課題と伝達内容の再生課題によるビート機能の検討 加納 研司・齋藤 洋典・井藤 寛志・大井 京	178
P2-13	行為の推移からみたブロック作成課題におけるマイクロスリップの特徴 廣瀬 直哉	180
P2-14	熟達過程における認知構造 — スケートスキルを対象として — 山田 雅之・諏訪 正樹	182
P2-15	音楽と色彩の連想メカニズムに関する研究 坂本 真樹・鎌田 静一	184
P2-16	組み立てスキル学習における認知負荷の効果の検討 浦尾 彰・三輪 和久	188
P2-17	命名の動機づけに関する認知言語学的考察 — 商品名の分析を中心に — 奥田 芳和	194
P2-18	要約文への疑問にもとづく読解の指導 内山 武	200
P2-19	Web 上での討議の習熟による散文理解方略の最適化と類推の寄与に関する基礎実験 (II) 光田 基郎	202
P2-20	抑制を必須とする記憶検索メカニズムの理論について 月元 敬	204
P2-21	認知構成要素による遂行動詞の分類 松本 斉子・村井 源・往住 彰文	208
P2-22	対話エージェントを用いた異なる視点に基づく相互作用の研究 林 勇吾・三輪 和久・浦尾 彰	210
P2-23	对人的意識がアンサンブル演奏に与える影響の検討 高橋 英之・石川 悟	212
P2-24	人はどのようにしてパスワードの強度を推定しているか 福田 健	214
P2-25	電子メールに含まれる顔文字および自己開示とその書き手の性別の組み合わせが読み手の感情面に与える影響に関する分析 加藤 由樹・加藤 尚吾	216
P2-26	英語 cost の表す事態構造について — 動詞用法を中心に — 年岡 智見	218
P2-27	大脳皮質の神経回路モデルを用いた脳の機能の計算機上での再現の構想 一杉 裕志	220
P2-28	携帯電話のカスタマイズとユーザの心理的・社会的特性 南部 美砂子・佐藤 祐土朗	222
P2-29	「一緒に」の談話処理にもとづく構造的曖昧性の解消 井上 雅勝	224
P2-30	AGM モデルを用いた合理的欲求の分析 中山 康雄	226

P2-31	算数の混み具合比較課題における 2 つの解法の統合過程：小学生へのインタビューによる分析 河崎 美保	228
P2-32	中途視覚障害者の学習方略に関する基礎調査 平崎 里沙	232
P2-33	認知的／社会的文脈の学習環境下における概念変化の促進 高垣 マユミ・田爪 宏二.....	234

■ 17:30 - 19:30 ワークショップ

W1-1	D サブカルチャーのデザイン [8号館 2階 821 教室] 企画者：有元 典文・上野 直樹・岡部 大介.....	236
------	---	-----

W1-2	「転移」再考：認知の基礎過程を考え直す [8号館 2階 822 教室] 企画者：三宅 なほみ.....	242
------	---	-----

W1-3	科学技術リテラシー育成のための学習科学へ向けて — 「自律型対話プログラムによる科学技術リテラシーの育成」プロジェクトの構想と展開 [8号館 2階 823 教室] 企画者：中野 美香	244
------	---	-----

2007年9月4日(火)

■ 9:00 - 10:30 口頭セッション <社会的問題解決>

[7号館4階007教室]

司会：平石 界（東京大学）

O3-1	コラボレーションの社会・生態学的基盤：フリーライダーの出現と「二八の法則」 石橋 伸恵・亀田 達也	250
O3-2	1ドルは裏切り者の手の中か？ —洞察問題における制約としての「裏切り者検知」— 阿部 慶賀・中川 正宣	252
O3-3	縦の因果関係 中島 秀之・諏訪 正樹・藤井 晴行	258
O3-4	人にとって非零和ゲームを解くことはなぜ難しいのか 伊藤 昭・大橋 資紀・板津 智章・寺田 和憲	264

■ 10:30 - 12:00 ポスターセッション (3)

[7号館地下ラウンジ]

P3-01	リスク状況下における帰納的推論 — 実験と計算モデルにおける検討 — 坂本 佳陽・中川 正宣	270
P3-02	効用値からみた文法伝搬：屈折による曖昧性除去と適用コストのバランスから 的場 隆一・中村 誠・東条 敏	276
P3-03	組込みプログラミング教育における受講者と上司からの教育効果評価 山本 雅基・齋藤 洋典	280
P3-04	Preference Aggregation Based Cognitive Modeling Kenryo Indo	282
P3-05	(発表取り消し)	
P3-06	ティッカー表示型対話システムにおけるユーザ応答の分析 山田 祐士・竹内 勇剛	288
P3-07	電子教材を利用した協同問題解決活動 — 授業実践方略の理解向上を目指して — 江口 聡・大島 純・大島 律子	292
P3-08	仮説検証過程における確信度の更新と検証方略の変化 田村 昌彦・服部 雅史	296
P3-09	演劇俳優の態度変化のプロセス — 縦断的質問紙調査による検討 — 安藤 花恵・三浦 佳世	298
P3-10	カーナビゲーションシステムの操作におけるユーザの学習 山中 佑也・三宅 なほみ	300
P3-11	囲碁の棋力差にかかわるパターン処理能力と先読み作業モデル 高橋 克吉・伊藤 毅志・村松 正和・松原 仁	302
P3-12	少人数の話し合いによる発問の質の向上 志賀 要・三宅 なほみ	304

P3-13	演繹推論の妥当性判断に与える関連性の影響 松井 理直	310
P3-14	即興演奏による感情コミュニケーションにおける聴取者の自閉症傾向の影響 生駒 忍・菊地 正	316
P3-15	広告評価に単純接触効果と情動連合記憶が及ぼす影響 松田 憲・楠見 孝	318
P3-16	人間の意図の能動的理解に基づく認知的コミュニケーション 横山 絢美・岡田 浩之・大森 隆司・石川 悟	320
P3-17	写真画像中の対象人物の奥行き変化に対する知覚特性 北橋 忠宏・岩橋 唯	322
P3-18	脳磁図を用いた非漢字圏日本語学習者の漢字学習過程の研究 大北 葉子・太田 克也・佐々木 嘉則・程 士維 エリック・松島 英介	324
P3-19	ワーキングメモリと学習ストラテジーからみた外国語の習熟度別グループの特質 大岩 昌子	326
P3-20	専門家同士が協調作業を行うことの効果 — ユーザビリティ評価業務での実践的検証 — 岡本 郁子	328
P3-21	知覚交替のインターバルの推移に内在するカオス的リズムの検証 伊藤 泰大・雄山 真弓	330
P3-22	操作モデルの簡潔なインターフェイスの提案 — 操作者はどこまでインターフェイスの操作概念を掴めるのか — 伊藤 育世	332
P3-23	「わかりにくさ」のリアリティと視点の再設定 堀 光一・金井 明人	334
P3-24	アナロジー多重制約理論の概念的理解が与えるデザイン最適解探索空間への効果 柳本 芳亮	336
P3-25	(発表取り消し)	
P3-26	連合野ニューロンの自発発火に関する一考察 志井田 孝	338
P3-27	電子掲示板での効果的な議論に存在感が果たす役割に関する検討 佐藤 弘毅	340
P3-28	L2 学習者のリーディングにおける難易度判断の要素 田中 邦佳・川崎 貴子・Peter Evans	342
P3-29	時制表現のコンテキスト化機能について 原田 依子	344
P3-30	組織における高次信念分布の特徴 野口 洋・小森 政嗣	346
P3-31	フローティング・ハイパーテキスト再考 森田 均	348
P3-32	空間的な説明にともないジェスチャーをすることの距離推定への影響 武長 龍樹	350
P3-33	個人に特化したインターフェイスを探求する試み 宮本 遼太郎・諏訪 正樹	352

P3-34 空間認知における存在の視点から見た否定と過剰一般化に関する一考察
 有光 奈美354

■ 12:00 - 13:00 昼休み 
 (認知科学会運営委員会を開催します)

■ 13:00 - 13:30 総会 
 [7号館4階007教室]

■ 13:30 - 15:30 大会実行委員会・シンポジウム
 [7号館4階007教室]
 企画・司会：小橋 康章 (大化社)
 来るべき認知科学の姿：戸田正直の夢から
 山岸 俊男 (北海道大学)・三宅 なほみ (中京大学)・他 4

■ 15:30 - 17:00 招待講演
 [7号館4階007教室]
 司会：野島 久雄 (成城大学)
 メガスター開発ストーリー：100万個の星を映すプラネタリウムを作る (仮題)
 大平 貴之 (有限会社 大平技研) 14

■ 17:30 - 19:30 懇親会 
 [本部棟3階食堂]

2007 年 9 月 5 日 (水)

■ 9:00 - 10:30 口頭セッション <相互作用>

[7 号館 4 階 007 教室]

司会: 平賀 謙 (筑波大学)

O4-1	観客どうしの協調と“場”のよしあしとの関係 野村 亮太・丸野 俊一	360
O4-2	ユーモアプロセス分析の試み — 理論的枠組みの提示と日常的エピソードにおける 検討 — 伊藤 大幸	364
O4-3	鬼ごっこゲームを題材とした幼児の行動決定過程のモデルベース評価の研究 坂本 寛之・石川 悟・大森 隆司	370
O4-4	演劇創作過程のシステム論的理解 — 序破 (急) 仮説と評価基準の自己生成について — 後安 美紀・辻田 勝吉	376

■ 10:30 - 12:00 ポスターセッション (4)

[7 号館地下ラウンジ]

P4-01	授業中の協調的吟味による説明活動の深化 遠山 紗矢香・三宅 なほみ	382
P4-02	小脳梗塞事例に対するリズムックキューイング法の治療効果とその持続性～事例 検討より～ 田中 康博	388
P4-03	言語的な振り返りは洞察問題解決を促進しうるか 清河 幸子・永山 陽祐	394
P4-04	心的ストレス課題に対する生体内分泌指標の動態調査 野村 収作・水野 統太・野澤 昭雄・井出 英人	396
P4-05	洞察問題解決過程における個人差を表現する計算機モデル 和嶋 雄一郎・中川 正宣	398
P4-06	黙読時の内的音声化と眼球運動 近藤 公久・神長 伸幸・馬塚 れい子・林 安紀子	400
P4-07	ピクトグラム二次元配置に関する視認性の検証 藤森 誠・伊藤 一成・Martin J. Dürst・橋田 浩一	402
P4-08	ロボットからの身体的接触: 接触の予測可能性が驚き・抵抗感と印象評価に与え る効果 石井 公美・原田 悦子・須藤 智・森 健治	408
P4-09	Eyes Draw Auxiliary Lines before Insight Moment Yukio Ohsawa・Takahisa Yoshida	410
P4-10	(発表取り消し)	
P4-11	日本語における ACE 効果の検討 栗津 俊二	412

P4-12	ミューラー・リヤー錯視図形認知における脳生理反応の基礎研究 佐々木 俊太郎・野村 収作・樋脇 治	416
P4-13	協同での創造的問題解決における対話の役割について — 場面・状況の想起を促す 対話の重要性 — 市川 大祐・矢代 恵一・森田 純哉・永井 由佳里	418
P4-14	物語生成システムにおける映像の自動生成のための行為概念記述に関する基礎的 考察 真部 雄介・小方 孝	420
P4-15	アカゲザル島皮質と運動理論 小崎 寛子	424
P4-16	会話における音声・身体動作の同調傾向：遅延条件下での姿勢の揺れの分析 伝 康晴・石崎 雅人・深代 千之	426
P4-17	テキストチャットにおける発言入力中の修正行動の分析 小倉 加奈代・西本 一志・杉山 公造	430
P4-18	修辞の論理的強度 藤田 米春・西島 恵介	434
P4-19	学生一人一人に対応した上級生のサポートによる、芸術作品制作過程のリフレク ションの向上 宮田 義郎・中村 太郎・加藤 正太	436
P4-20	ロボットに対する否定的態度がロボットに対する認知に及ぼす影響 高田 美幸・兵藤 宗吉・須藤 智	438
P4-21	リハビリテーションセラピストの経験年数からみた患者評価の違い 佐々木 健史	440
P4-22	逆向き設計論にもとづくカリキュラム設計データベースの構築と検討 中池 竜一・西岡 加名恵	442
P4-23	ヘブライ語の学習過程における文字と単語の記憶成績の変化 大道 直人・渡邊 兼行	444
P4-24	創造的問題解決を促進する事前経験 — Preparation for Learning の視点からの検 討 — 大島 純	446
P4-25	日本語非単語の直後系列再生 — ポーズ及びピッチの実験操作による検討 — 木戸口 英樹・齊藤 智	450
P4-26	文彩を生じさせる(語の)意味の相互作用の実態は何か? — MSFA と PMA を 使った語彙的意味記述と超語彙的意味記述の統合 — 黒田 航・中本 敬子	452
P4-27	動作音が人の気配感に与える影響 鈴木 紀子・馬田 一郎・北村 達也・井ノ上 直己	458
P4-28	ペーシング・ボード使用時と非使用時の発話モーラ数と発話内容の質的検討 — dysarthria 1 例の分析より — 志村 栄二・三宅 なほみ	460
P4-29	日常的作業における認知的負荷時の視線 安田 哲也・小林 春美	462

P4-30	大画面での写真共有における新しい「楽しさ」の評価：NUE (New User Experiences) への感情評価 原田 久美・原 紀代・松井 巖徹・中 俊弥・原田 悦子・須藤 智.....464
P4-31	看護における「ものづくり」を通じた創造性の育成 石井 成郎・柳原 千佐子・須賀 京子・白井 裕子・百合 純子・内村 祥子・岡嶋 良枝・水野 正延.....466
P4-32	学生が直面することに応じて行動できる教育的な支援方法の検討 — 認知症高齢者への血圧測定を通して — 太田 真理子.....468
P4-33	(発表取り消し)
P4-34	中国語の空主語文処理について — 第1言語習得の視点から — 翟 勇・坂本 勉.....472

■ 12:00 - 13:00 昼休み

■ 13:00 - 14:00 招待講演 (3)

[7号館4階007教室]

司会：青山 征彦 (駿河台大学)

ノスタルジア研究の現状と課題 -消費者行動研究の視点から-
堀内 圭子 (成城大学)..... 16

■ 14:00 - 15:30 口頭セッション <思考と行動の支援>

[7号館4階007教室]

司会：鈴木 宏昭 (青山学院大学)

O5-1	認知モデルを利用したデータ解析：グラフィックデザインにおける類推 森田 純哉・永井 由佳里・田浦 俊春.....476
O5-2	人工知能システムによる創造的生成支援の実験的検討 — 数学文章題の作問を対象として — 小島 一晃・三輪 和久.....482
O5-3	道具は人の文章産出を変えるか：キーボード、タブレット入力と手書きの文書作成 原田 悦子・垣内 麻友子・須藤 智.....488
O5-4	高齢者の携帯電話の使用における社会的な学習支援：日誌法と構造的インタビューの結果から 森 健治・原田 悦子.....490

■ 15:30 - 17:00 ポスターセッション (5)

[7号館4階007教室]

P5-01	Web ページ閲覧時の注目点の移動 小坂 貴恵・森田 ひろみ.....	492
P5-02	(発表取り消し)	
P5-03	ビデオシステムによる講義内容の協調的な振り返り活動を支援する 白水 始・三宅 なほみ・高橋 信之介	498
P5-04	講義内容の長期保持支援 高橋 信之介・三宅 なほみ・白水 始	502
P5-05	共同作業における発話・視線行動に関する分析 鈴木 紀子・馬田 一郎・岩澤 昭一郎・井ノ上 直己・神谷 俊郎・ 伊藤 禎宣・鳥山 朋二・小暮 潔	506
P5-06	他者間の授与イベントにおける利益の認知 — 「あげる」「くれる」の選好性の観点 から — 横森 大輔・平 知宏・野澤 元・森本 裕子.....	510
P5-07	与益行為としての「あげる」と「くれる」：用法制約における共益性 野澤 元・横森 大輔・白土 保.....	512
P5-08	挿絵がマニュアル読解の動機づけに及ぼす影響の視線計測による検討 島田 英昭・北島 宗雄.....	514
P5-09	手書きによるノートテイキングの有効性に関する検討 中村 太蔵留・田丸 恵理子・上林 憲行.....	518
P5-10	ハイブリッドな情報環境における利用者の情報探索行動 — 大学図書館を例に — 寺井 仁.....	520
P5-11	エピソード記憶に基づくコミュニケーションのための共想法支援システムの開発 と認知症予防への応用 大武 美保子・豊嶋 伸基・三島 健稔・浅間 一.....	526
P5-12	言語解釈との比較に基づく創造的デザインプロセスの特徴分析 竹内 智彦・永井 由佳里・森田 純哉・田浦 俊春	530
P5-13	思い出を語る場を作る取り組みから 野島 久雄・新垣 紀子・永井 由美子	534
P5-14	日本語の関係節付加位置選択へのワーキング・メモリの影響 中野 陽子・西内 万貴.....	536
P5-15	共有体験を持つ学生カンファレンスによる学習効果 高橋 千恵子.....	538
P5-16	仮想共有空間の客観視を利用した遠隔講義システムの評価 細谷 英一・橋本 佐由理・原田 育生・小野澤 晃・上田 繁.....	540
P5-17	人間の行為における「作為」と「不作為」の認識に差はあるか？ 林 創	542
P5-18	検索システムの性能評価と利用者実験との比較 齋藤 ひとみ・寺井 仁・高久 雅生・江草 由佳.....	544
P5-19	弾性力の触運動知覚における平滑化プロセス 大西 仁・望月 要	546

P5-20 記憶高進現象におけるテスト間隔の影響
林 美都子・高井 順子・関根 一貴・村上 典子.....548

P5-21 複数の言語コーパスを用いた比喩理解の計算モデル
寺井 あすか・中川 正宣.....550

P5-22 新しい芸術分野と公的評価 — 人形作家の事例研究 —
宮澤 享子・岡田 猛.....554

■ 17:00 - 19:00 ワークショップ

W2-1 熟達研究における実践知の測定とその利用
[8号館2階821教室]
企画者：平田 謙次・伊東 昌子.....556

W2-2 子どもの日常生活をとりまく認知科学と工学
[8号館2階822教室]
企画者：本村 陽一・西田 佳史・野島 久雄・新垣 紀子.....558

W2-3 思考と言語獲得における対称性
[8号館2階823教室]
企画者：服部 雅史・篠原 修二.....564

査読委員一覧

日本認知科学会第24回大会(2007年、成城大学、東京)の論文査読に当たっては、以下の皆様に査読委員としてご協力をいただきました。また、査読に用いた査読システムは、伴峰生さん(中京大学)に作成していただきました。ありがとうございました。

第24回大会プログラム委員長

小橋 康章

Jeffrey Witzel	ウィッツェル楠緒子	三宅 なほみ	三宅 芳雄
三輪 和久	下嶋 篤	中山 晃	中島 秀之
中川 正宣	中村 國則	中村 真理子	仁木 和久
伊藤 毅志	内海 彰	前原 由喜夫	加納 寛子
南 保輔	原田 康也	坂原 茂	大森 隆司
大西 仁	守 一雄	寺井 仁	小倉 加奈代
小堀 聡	小崎 寛子	小川 昭利	小松 孝徳
小林 春美	小橋 康章	小野 哲雄	山岸 侯彦
山崎 治	岡田 猛	川合 伸幸	平石 界
平賀 譲	広瀬 友紀	志井田 孝	新垣 紀子
日野 泰志	星野 徳子	服部 雅史	杉尾 武志
村山 功	梅田 聡	森田 均	森田 純哉
楠見 孝	横山 悟	橋田 浩一	永井 淳一
永井 由佳里	浅井 智久	渡辺 利夫	片桐 恭弘
牧岡 省吾	田窪 行則	白水 始	石井 敬子
石崎 俊	石川 幹人	福田 健	竹内 勇剛
竹澤 正哲	藤井 晴行	諏訪 正樹	近藤 公久
野口 尚孝	野島 久雄	野村 収作	金井 明人
鈴木 宏昭	阿部 慶賀	青山 征彦	馬田 一郎
高垣 マユミ	高梨 克也	高橋 和弘	黒田 航
齋藤 ひとみ			(順不同・敬称略)

